

よえもん

論語から学ぼう

(記念館の玄関前に掲示しています)



《 第59号 》 (2018年度)

藤樹先生の代表的な門人
熊沢蕃山 その1

シリーズ
よえもん



熊沢蕃山は元和5年(1619年)に京都に生まれ、子どもの頃から学問が好きで、いろいろな本を読んで勉強をしました。8才の時水戸(茨城県)の熊沢家の養子になり、16才の時、京都の親戚のすすめにより、備前の国(岡山県)の藩主、池田光政に仕えました。20才の時、学問にはげもうとおひまをもらい、近江の桐原(近江八幡市)に住みました。京都に出て先生を探したものの、見つからず困っていましたが、23才の時、りっぱな先生が小川村にいると聞き、藤樹先生をたずねました。



熊沢蕃山



池田光政



現在の岡山城

「論語」憲問第十四

書 瀧田瑞穂さん

古の学者は
己の為に
今の学者は
人の為に

「昔の人は自分の成長のため学んだ。今の人には地位と名誉のために学んでいる。」という意味です。

人はややもすると、人に知られ、有名になりたいという欲が強く、そのために勉強するという傾向にあります。しかし、学ぶことの大きな目標は、自分自身の心や能力をより良くすることが、最も重要であると言えます。

また、自分の利益ばかり考えて学問するのではなく、自分が学んで得たことを、人や世の中に役立たせようという気持ちも大切です。

🎉🎉🎉🎉🎉🎉🎉🎉🎉🎉 * 記念館だよ！ * 🎉🎉🎉🎉🎉🎉🎉🎉🎉🎉

今年も残すところあとわずかになりました。今年1年間、地域や関係施設の皆様方には大変お世話になり、ありがとうございました。当記念館は、12月29日から1月3日まで、年末年始の休館日となります。1月4日は午前9時から通常通り開館しますので、来年もどうぞよろしくお願い致します。



🎉🎉🎉🎉🎉🎉🎉🎉🎉🎉



近江聖人中江藤樹記念館

高島市安曇川町上小川69 TEL:FAX (0740)-32-0330

